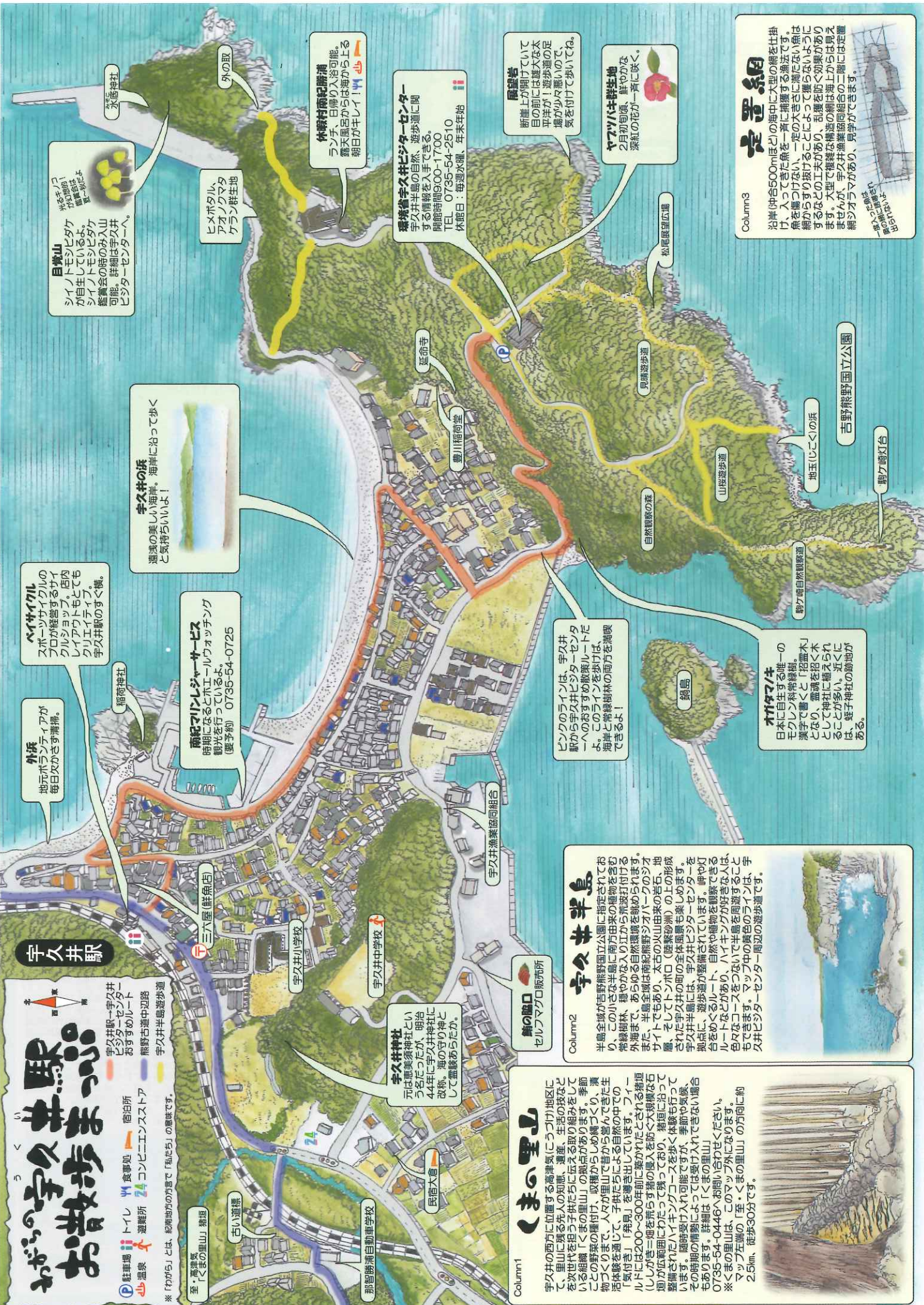


# おがらの宇久井まっぴお散歩

宇久井駅→宇久井ピシターセンターお散歩ルート  
 龍野古道中辺路  
 宇久井半島遊歩道

駐車場  
 トイレ  
 食事処  
 徳田所  
 温泉  
 遊園所  
 コンビニエンスストア

※「おがら」とは、龍野地方の方言で「おちち」の意味です。



**外浜**  
 地元ボランティアが毎日双かき清掃。

**ベイスイカ**  
 スポーツサイクリングプロが経営するサイクルショップ。店内レイアウトもとてもクリエイティブ。宇久井駅のすぐ横。

**宇久井の浜**  
 遠慮の美しい海岸。海岸に沿って歩くと気持ちいいよ！

**南紀マリンレジャーサービス**  
 時期になるとホエールウォッチング観光を行っているよ。(要予約) 0735-54-0725

**宇久井神社**  
 元は悪徳神主といわれたが、明治44年に宇久井神社に改称。海の守り神として霊験あらたか。

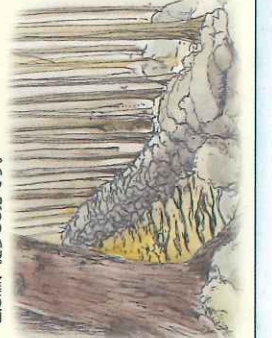
**宇久井半島ピシターセンター**  
 宇久井半島の自然・遊歩道に関する情報を手で見る。開館時間9:00~17:00 TEL 0735-54-2510 休館日：毎週水曜、年末年始

**海の産物販売所**  
 セルフマングロ販売所

**Column1**  
**くまの里山**  
 宇久井の西方に位置する高津原(こうつげ)地区にて、里山に生きる先人の知恵、遺産、生活の痕などを次世代に担う子供たちに伝える取り組みをしている組織「くまの里山」の拠点があります。季節ごとの野草の種付け、収穫からしめ縄づくり、漬物づくりまで、人々が里山で暮らした人々の生活体験を通じて、子供たちによる自然の中での「気づき」を導き出しています。フィールドには200~300年前に築かれたとされる猪俣石垣が広範囲にわたって残っており、猪俣に沿って整備されたハイキングコースを歩く体験も行っています。臨時受け入れ可能ですが、季節や気候も異なります。詳細は「くまの里山」0735-54-0446へお問い合わせください。※くまの里山は、このマップ外にありません。マップ左端の「至・くまの里山」の方向に約2.5km、徒歩30分です。

**Column2**  
**宇久井半島**  
 半島全域が吉野熊野国立公園に指定されており、この小さな半島に南方由来の植物を数多く含む常緑樹林、種やがな入りの江戸から運ばれた外海まで、あらゆる自然環境を眺められます。また、半島全域は南紀熊野ジオパークのジオサイトでもあり、太石の山田家の岩石、地元の「おがら」(陸奥産)の上の形成された宇久井の町の全体環境を眺められます。宇久井半島には、宇久井ピシターセンターを拠点に、遊歩道が整備されています。神や灯台をめぐると、自然や植物を観察できるルートなどがあり、ハイキングが好きな人は、色んなコースを歩いて半島を巡遊することができます。マップ中の黄色のラインは、宇久井ピシターセンター周辺の遊歩道です。

ピンクのラインは、宇久井駅からお散歩コースのスタート地点から、このラインを歩けば、海岸と常緑樹林の両方を眺められるよ！



**Column3**  
**たしな**  
 沿岸(沖合500mほど)の海中に大型の網を仕掛け、入ってきた魚を、舟に捕獲する漁法です。魚を傷つけない、一定の大きさに揃えない魚は網からすずり抜けることにより、乱獲を防ぐ効果があります。大型で複雑な構造の網は海上からは見えませんが、宇久井漁業協同組合の二階には、網シオラマがあり、見学ができます。

一歩上った網は、魚が逃げないよ。

**オウチタマシ**  
 日本に自生する唯一のモクレン科常緑樹。漢字で書くと「招霊木」となり、霊魂を招く木として神社に植えられていることが多い。近くには、蛭子神社の跡地がある。

**屋敷岩**  
 断崖上が開けていて目の前には雄大な太平洋が！遊歩道の足場が少々悪いので、気を付けて歩いてね。

**ヤブツバキ群生地**  
 2月初旬頃、鮮やかな深紅の花が一斉に咲く。

見晴展望広場  
 松尾展望広場

吉野熊野国立公園  
 駒ヶ岡灯台

地玉(じご)の浜  
 駒ヶ岡自然観察道

山登遊歩道  
 自然観察の森

見晴展望広場  
 山登遊歩道

見晴展望広場  
 山登遊歩道

見晴展望広場  
 山登遊歩道

見晴展望広場  
 山登遊歩道

見晴展望広場  
 山登遊歩道

見晴展望広場  
 山登遊歩道

見晴展望広場  
 山登遊歩道

見晴展望広場  
 山登遊歩道

見晴展望広場  
 山登遊歩道

見晴展望広場  
 山登遊歩道

見晴展望広場  
 山登遊歩道